

訪問教育について

- 特別支援学校では、障がいのため通学して教育を受けることが困難な児童生徒に対して、教員が家庭や病院等を訪問して指導を行っています。一人一人の病気や障がいの状態に合わせた教育課程を編成し、個別の指導計画に基づいて指導を行います。病気や障がいが改善されて通学が可能な状態になれば、学校での教育に変更することもできます。
- 訪問教育を設置している学校
長良特別支援学校、岐阜本巣特別支援学校、羽島特別支援学校、揖斐特別支援学校、大垣特別支援学校、海津特別支援学校、郡上特別支援学校、関特別支援学校、可茂特別支援学校、東濃特別支援学校、恵那特別支援学校、下呂特別支援学校、飛騨特別支援学校、飛騨古城特別支援学校
- 指導内容
 - ・一人一人に応じた指導目標や内容等を明確にした個別の指導計画を設けて指導します。
 - ・学校に登校（スクーリング）し、友達とかかわり合いながら集団活動を行う機会を設けています。
- 指導回数と指導時間
 - ・指導回数・・・週3日程度
 - ・指導時間・・・1日2時間程度
- 病院への訪問教育については、主治医・看護師との連携のもと、児童生徒の状態に応じて弾力的に指導時間が設定されます。

医療的ケアについて

- 特別支援学校では、たんの吸引や経管栄養等の医療的ケアが必要な児童生徒のために、看護師を当該学校に常勤講師及び医療的ケア非常勤専門職として配置し、主治医の診療情報提供書・指導医の指示書に基づいて医療的ケアを行っています。
小・中学校等における医療的ケア実施体制を支援するため、市町村に対して、マニュアルや実践事例の情報提供、特別支援学校に勤務する看護師や担当教員による相談支援、訪問支援等を実施しています。
- 医療的ケアを実施している学校（令和6年度）
岐阜聾学校、長良特別支援学校、岐阜希望が丘特別支援学校、岐阜本巣特別支援学校、羽島特別支援学校、揖斐特別支援学校、大垣特別支援学校、海津特別支援学校、郡上特別支援学校、関特別支援学校、可茂特別支援学校、東濃特別支援学校、恵那特別支援学校、飛騨特別支援学校高山日赤分校、飛騨古城特別支援学校、岐阜市立岐阜特別支援学校